

年間指導計画表(シラバス)

科目名	情報・情報 I	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・2年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画することができる。
使用教科書 副教材等	新編情報 I (東京書籍) 新編情報 I 資料ノート(東京書籍)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて深く理解することができる。	様々な事象を情報とその結び付きとしてとらえ、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用することができる。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画しようとする。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	1章 情報で問題を解決する 2章 情報を伝える 5章 活動して提案する	・実技 ・定期考査 ・提出課題	・授業の行動観察 ・定期考査 ・提出課題	・授業の行動観察 ・提出課題
	評価点	200点	200点	200点
後期	3章 コンピュータを活用する 4章 データを活用する 5章 活動して提案する	・実技 ・定期考査 ・提出課題	・授業の行動観察 ・定期考査 ・提出課題	・授業の行動観察 ・提出課題
	評価点	200点	200点	200点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	1章 情報で問題を解決する 1 情報とメディアの特性 2 問題解決の流れ	4
	5	3 発想法 4 情報モラル 5 個人情報の流出 6 傷つかない傷つけないために 7 著作権 8 情報技術の発展	8
	6	実技試験 9 情報化と私たちの生活の変化 10 よりよい情報社会へ	7
		2章 情報を伝える 11 コミュニケーション手段の変化 12 ネットコミュニケーションの特徴	
	7	13 デジタルの世界へ 14 数値と文字のデジタル表現 15 音と画像のデジタル表現 16 色と動画のデジタル表現	8
	8	17 目的に応じたデジタル化 18 情報デザイン 19 ユニバーサルデザイン	2
	9	20 情報デザインの流れ 実技試験	2
	前期期末考査	1
		前期の学習のまとめ	3
後期	10	3章 コンピュータを活用する 21 コンピュータとは何か 22 ソフトウェアの仕組み 23 演算の仕組みとコンピュータの限界 24 アルゴリズムの表現 25 プログラムの基本構造1 26 プログラムの基本構造2	8
	11	27 発展的なプログラム1 28 発展的なプログラム2 29 モデル化とシミュレーション	8
	12	30 シミュレーションの活用	6
		4章 データを活用する 31 ネットワークとインターネット 32 インターネットの仕組み 33 サーバとクライアント 34 インターネット上のサービス	
	1	35 情報セキュリティ 36 データの形式 37 データベースの活用 38 さまざまなデータモデル	6
	2	39 データ分析の流れ 40 目的に合わせたデータの利用 実技試験	4
	後期期末考査	1
	3	後期の学習のまとめ	2

5 その他

授業の中で実技試験を行ったり、習得した知識や技能を活用できるかを評価したり、情報の見方・考え方を働かせて自らの言葉で積極的に表現できるかを評価したりします。また、第5章の内容は年間を通じて、知識や技能を活用するための演習として取り組んでいきます。授業で学んだことが、日常生活のどの場面で活用できるかを常に考え、日々の授業を大切に、休まずに出席しましょう。